

東京都三宅村と地域創成

火山噴火からの復興と若い世代による地域活性化



東京都三宅村のある三宅島では2000年の雄山噴火により大量の火山ガスが噴出し、4年半の**避難生活**を余儀なくされました。噴火活動は沈静化し避難も解除されましたが、一部の住民は帰島せず、また高齢化により人口は減少の一途をたどっています。

このような状況の中、主力のアシタバに続く農産物として、伊豆諸島全体でブランド化に取り組む**パッションフルーツ**の栽培に力を入れています。地域創成科学科では、他の島との**差別化**や都市部でのPR方法について農家の方と情報交換をしながら、新たな特産品としての定着を目指しています。また、**島内の高校**において大学生・教員との交流会を実施し、高校生に島の現在の問題点やPRポイントを考えてもらうことで、若い世代のキャリアデザインと今後の島の活性化が図れるような試みを進めています。今後はより積極的に高校から三宅島の**情報を発信**したり、**特産品を提案**するプロジェクトを計画しています。

